

優良製品・技術表彰 2025

優れた建築材料・住宅設備の製品・技術を社会に発信し、品質並びに施工技術の向上を図り、建築業界全体の更なる発展と向上に寄与することを目的として「優良製品・技術表彰」を実施しました。

この賞は日本で唯一の経済産業省と国土交通省の認めた建築材料、住宅設備の賞です。

誰もが安心して暮らすことができる住生活の実現、安全で質の高い住宅・建築ストックへの更新・整備、地域の魅力を維持・向上等に資する優れた建築材料・住宅設備であるかどうかを製品・技術の新規性・独創性、意匠性、市場性、機能性・安全性、実用性、時代性等について「優良製品・技術表彰 実行委員会」で最終選考に残った 31 製品・技術を総合的に選考及び評価して全員異議なく下記受賞製品・技術を決めました。

経済産業省 製造産業局長賞

「難燃 WOOD 塗るだけ」 大成建設株式会社、大日本塗料株式会社、
信越化学工業株式会社、越井木材工業株式会社

[講評]

持続可能な環境配慮型社会の実現に向けて、CO2 削減に貢献する木材を多く建築に取り込むことが求められている。従来の含浸型で木材を準不燃化するにはコスト面等で課題が多いが「難燃 WOOD 塗るだけ」は木材表面に塗装するだけで準不燃化を実現する塗布型難燃材である。

透明な塗料で木材の自然な風合いを損なうことなく意匠性を保持しつつ、従来の含浸型難燃木材と比較して 1/3～1/2 のコストで施工が可能であり、経済性に優れる。塗布するだけで効果を発揮するため、特殊な装置を必要とせず、CLT などの大型木材や既存建築物にも対応でき、現場での施工性や柔軟性にも富む。文化財など歴史的建造物への適用も期待できる技術である。さらに、含浸型で課題となっていた白華現象を大幅に抑制し、美観を長期間維持できる点も意匠性を重視する建築にとって重要な利点である。火災時には塗膜が炭化して断熱層を形成し、難燃効果を発揮するなど、性能面でも信頼性が高い。意匠性・難燃性・施工性・経済性の各要素を高いレベルで兼ね備えており、木造建築物の安全性と設計自由度を高める製品である。

木と共生し未来へつなげるという思念のもと、建設会社、塗料メーカー、木材メーカーが一体となり研究開発された材料であり、今後の活用が期待され特に高く評価した。

国土交通省 住宅局長賞

「ガラス用遮熱コーティング【ZEROCOAT】」 株式会社 ZERO

[講評]

窓ガラスに塗布するだけで高い遮熱・遮光性能を発揮する無機系塗料である。紫外線を約 99%、近赤外線を約 90%カットし、外気から伝わる不快な熱感を抑えることにより、室内の快適性を大きく向上させる。加えて、窓際の温度上昇を約 10℃低減し、空調負荷を軽減することで 20～25%の省エネ効果が見込まれる点は、環境負荷低減に資する優れた特性といえる。塗装後に形成される無機系塗膜は、耐候性・高硬度・不燃性を備え、長期使用に耐える仕様である。また、ホルムアルデヒド不検出という安全性の高さも特筆すべき点である。既存のガラスに後施工が可能であり、低コストかつ非破壊的に性能向上が図れることから、住宅のみならず商業施設や公共建築物にも広く展開可能な製品として特に高く評価した。

優秀賞（日本建築協会賞）

「Archi Design」 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社

[講評]

同社の照明器具「HomeArchi」シリーズは、器具自体が主張するのではなく建築空間の素材としてのデザインを追求し、建築設計者のニーズに応える存在となっている。

当該「Archi Design」の製品群は、この概念を更に広げ、照明器具のみでなく同社の電気設備機器のデザインを、床・壁・天井の設備全体で統一し、空間デザインの純度を高める一助となるよう企画されたものであり、その製品開発の趣旨に賛同する多くの選定者から高い評価を得た。

同社の製品群を横断的にデザイン統一することは、各々が確たる市場を持ち、独自の仕様を有するものだけに、照明器具単独でのデザイン統一をはるかに超える調整の難しさがあると推察される。これらの困難を越えて、建築設計者の望む製品群を提供しようという同社開発メンバーの姿勢を評価し、また微力ながらユーザーサイドからの支持表明に代えるべく、今回「優秀賞」に選定した。

今後の同シリーズの継続的な製品開発に期待したい。

優秀賞（大阪府建築士会賞）

「ホールドワン 省施工吊りバンド『SST』」 因幡電機産業株式会社

[講評]

天井からの横引き配管に用いる吊バンドの施工工程を、従来の5工程から2工程へと大幅に簡略化し、実用性を飛躍的に向上させた点が高く評価される。配管を下から押し込むだけで仮保持できる構造は、高所・狭所での作業安全性や効率性を向上させ、施工の属人性排除にもつながっている。また、施工完了を視覚的に確認できるボルト先端カバーの工夫により、ミス防止と品質管理にも貢献している。人手不足が深刻化する建設業界において、省力化・省人化を実現する本製品は、現場の課題に即した優れた提案である。審査の際、開発者が話された人の可動域からの発想は、まさしく生きたデータを基にした人間工学であり、この小さな開発が工事のコスト削減に大きく寄与していることについて評価した。

優秀賞（日本建築家協会 近畿支部賞）

「ALTRAIL（アルトレール）」 TSUGI DESIGN 合同会社

[講評]

建築設計者と使用者の双方の視点を融合し、デザイン性と機能性を高次元で両立させた支持レールは、様々なブラケットを使用して手すりや棚板等を壁掛けでき、高く評価した。補強板不要でJIS規格の荷重試験をクリアする高強度を備えながら、空間デザインと調和する意匠性を実現しており、住環境に自然に溶け込む製品である。異業種連携による柔軟な生産体制も先進的であり、多様なニーズに応じた機能の追加も可能とする設計思想は、今後の住宅・福祉分野における標準モデルとなる可能性を有している。「暮らしを彩るプラットフォームへ」というコンセプトのもと、生活の質と空間価値を同時に高める優れた製品であると評価した。

優秀賞（大阪府建築士事務所協会賞）

「イノベーションプルーフ RR」 ロンシール工業株式会社

[講評]

従来の高反射性能に加え、放射冷却性能を付加することで、日中の蓄熱抑制と夜間の冷却を同時に実現した次世代型防水シートである。高断熱化や酷暑の進行といった社会課題に対する有効な対応策として、屋上の熱環境改善に寄与する点が高く評価される。SPACECOOL 社との共同開発によって実現した本製品は、大阪府の実証事業において、冷房電力・CO₂排出量・空調費を約 20%削減する効果が確認されており、環境負荷軽減と経済性の両立が図られている。また夏場の屋根は 70℃～80℃に達する厳しい環境に有り、建設業の熱中症対策が義務化された今、有効な対策手段の 1 つと考えられる。防水性能と環境性能を高度に融合させた本製品は、脱炭素社会の実現に向けた建築材料のあり方を再定義する先進的な取り組みとして評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「手摺一体型太陽光パネル『ソーラーレール』」 株式会社東急コミュニティー/
日栄インテック株式会社

[講評]

バルコニー手摺や屋上フェンスといった仕切り用途の建材に太陽光発電機能を付加した建材一体型太陽光パネルであり、省スペースでの再生可能エネルギー導入を可能にした点が評価される。垂直面への設置と両面発電という特長により、都市部でも高い発電効率を実現しており、平置き設置の約 70%の発電量を確保できる点は実用性に富む。TUV 認証や機能性認定を取得し、補助金の適用対象となることで導入促進も期待されるほか、蓄電池との併用により非常時の電力確保にも対応。再エネ活用と防災機能を両立する製品として、都市型建築における新たなエネルギー活用モデルの構築に資する提案であると評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「Life Assist2」 株式会社 L I X I L

[講評]

ドアや窓、浴室、キッチン、家電から太陽光発電・蓄電池までを一括制御できるオールインワン型スマートホームシステムとして評価される。スマートフォンや音声による操作、さらには気象・位置情報との連携による自動最適化機能により、快適・安全・省エネな住環境を実現している点が特長である。月額利用料不要という点も導入のハードルを下げ、広く普及が期待できる。戸建住宅全体への対応力と、誰でも簡単に扱えるユーザビリティは、スマートホームの未来像を具体化する優れた提案であり、住宅分野におけるデジタル化推進に貢献する製品であると評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「たよレール SOTOE/MOTOE PJ」 マツ六株式会社

[講評]

工事不要で設置可能な据置式の手すりとして、屋内外を問わず柔軟に対応できる利便性が評価される。専用連結部材「わたレール EK」により長距離設置も可能で、通路や階段など多様な場面での使用に適している点は、福祉用具としての実用性に優れる。また、再生利用モデル「MOTOE PJ」によるベースプレートの回収・補修・再提供の仕組みは、価格抑制と環境負荷軽減の両立を図っており、循環型経済の実現に向けた先進的な取り組みといえる。高齢化社会において、持続可能で環境にやさしい福祉インフラを支える本製品群は、ユーザー視点と社会的意義の双方を備えた提案であると評価した。

特別賞（日本建築材料協会賞）

「KALuVER (カルバー)」 株式会社ライフアートブランテック

[講評]

リサイクルガラスを原料としたグラスウールを用いた次世代型の不燃建材として、意匠性・施工性・環境性能を高次元で融合させた点が評価される。従来の金属製建材では困難だったR形状や自由曲面への対応を実現し、型材不要で1枚から対応可能な柔軟性は、設計自由度と施工効率の両面で大きな利点をもたらす。不燃材料認定を取得し、NRC 値 0.9 という優れた吸音性能に加え、岩綿吸音板比で約 50%の軽量性も有しており、機能性にも優れている。さらに、F☆☆☆☆およびグリーンラベル取得により、室内空気環境への配慮や環境負荷低減にも貢献しており、サステナブル建材としての価値も高い。多彩なバリエーションにより空間デザインの可能性を広げ次世代建築に新たな選択肢を提供する提案であると評価した。

『優良製品・技術表彰 選考委員会』

■お問い合わせ先

一般社団法人 日本建築材料協会

大阪市西区江戸堀 1-4-23 撞木橋ビル 4 階 Tel 06-6443-0345